

令和2年度農林水産関係予算のポイント(概要)

	令和元年度	令和2年度	前年度比
農林水産関係予算	2兆3,108億円	2兆3,109億円	+1億円(+0.0%)

○ 農業の成長産業化に向け、農業者が国内外の消費者ニーズに合った作物を生産し、所得向上を図ることができるよう、①農林水産物・食品の輸出環境整備、②高収益作物の生産支援、③新規就農者の確保、といった取組を進める。あわせて、水産改革に引き続き取り組むとともに、CSF・ASFの発生予防・まん延防止の取組も着実に実施。

【主な内容】

※()内は令和元年度当初予算比

1 農林水産物・食品の政府一体となった輸出力強化

- ・司令塔組織の創設 12億円【新規】
- ・輸出向けHACCP等対応施設整備 15億円【新規】
- ・グローバル産地づくりの強化 5億円(+3億円)

2 消費者ニーズに合った作物の生産支援

高収益作物の生産支援と経営所得安定対策

- ・水田活用の直接支払交付金 3,050億円(▲165億円)
—飼料用米支援を見直し、野菜・果樹などへの転換支援を拡充
- ・収入減少影響緩和交付金【所要額】645億円(▲96億円)
- ・収入保険制度への移行の推進 211億円(+5億円)

スマート農業の社会実装と基盤づくり

- ・スマート農業総合推進対策事業 15億円(+10億円)
- ・農業農村整備事業関係 4,433億円(+15億円)

※令和元年度補正予算とあわせて5,975億円(+70億円)を措置

3 新規就農者の確保と担い手への農地集積・集約化

- ・農業人材力強化総合支援事業 213億円(+3億円)
- ・潜在的就農希望者の就農定着支援 5億円【新規】
- ・人・農地プランの実質化の推進 5億円(+2億円)

4 水産改革を推進する新たな資源管理と成長産業化

- ・新たな資源管理システムの実施 320億円(+69億円)

水産資源調査・評価推進事業	52億円
漁業収入安定対策事業	142億円

5 CSF・ASFなど家畜疾病への対応強化

- ・消費・安全対策交付金 30億円(+10億円)
- ・家畜伝染病予防費 86億円(+53億円)
- ・水際検疫体制の強化 10億円(+5億円)